



見守ってくれて
ありがとう♪

5月23日、無事に巣立ちました！

J 情熱的な

T たから

K 子ども園



新年度がスタートした4月。新入園児の多い0・1歳児クラスでは、泣き声の大会唱から始まりました。在園児の子どもたちも一つ上のクラスに進級し、ワクワクしながらも少しドキドキしていたのではないのでしょうか。けれども、子どもたちは本当にたくましいものです。泣いたり、自己主張をしたりするのも、成長の大切な一歩。日を追うごとに笑顔が増え、園での生活にも少しずつ慣れ、元気に過ごす姿が見られるようになってきました。陽ざしを浴びてすくすく伸びる草花のように、子どもたちは今、心も体も大きく育とうとする力にあふれています。今年度も、私たち職員一同、子どもたちの姿に励まされながら、笑顔と感動を保護者の皆様と分かち合っていきたいと思います。

クラスの取り組み紹介します!!

年長



年長クラスの今年の挑戦は「たから菜園」です。園庭の畑に、みんなでいろいろな野菜を育てようと、まずは土づくりから始めました。スコップで掘り返しながら、肥料を混ぜる作業は楽しくもあり、ちょっぴり大変でもありました。いよいよ苗植えの日。ナス、トマト、ピーマン、きゅうりなど、夏野菜を中心に10種類の苗を植えました。毎日水やりをしながら、生長していく様子をうれしそうに見つめる子どもたち。途中、カラスに食べられてしまうという残念な出来事もありましたが、それでも日々大きくなっていく野菜たちに、子どもたちは収穫の日を心待ちにしています。

年中



今年度、年中児は絵本を250冊読むことに挑戦しています。活動後に1日1冊は読み聞かせを行っています。5月には、保育教諭が持ってきたそら豆の皮むきを行い、実際に見て触れてみました。その後、「そらめくんのベッド」という絵本を読むと「そら豆の中、ふわふわだった！一緒だね」と口にしながら楽しんで見ていた子ども達。絵本を通して、様々なことに興味を持ったり、聞く姿勢を保てるようにしていきたいと思います。



(絵本の世界に夢中な子ども達)

年少



「先生、ダンゴムシ見つけようよ！」そんな子どもたちの声に誘われ、一緒に虫探しに出かけました。絵本で読んだとおり、ダンゴムシは木の下や落ち葉の下にすることを思い出し、「ここかな？」と掘ってみると...ミミズやダンゴムシがウヨウヨ！「いたー！」と大歓声があがりました。見つけた虫たちは、さっそくみんなで観察。育ててみたいという声もあがり、子どもたちと一緒に飼い方を調べ、おうち（飼育箱）も手作りしました。現在、年少組ではチョウの幼虫やカタツムリなどと一緒に飼育を続けています。虫にふれながら、子どもたちはいろいろな発見をしています。「やわらかーい！」「あ、葉っぱ食べてる！」そんな気づきのひとつひとつが、命に対する興味ややさしさへとつながっているように感じます。ぜひご家庭でも、虫探しや飼育を通して、命の大切さを一緒に感じていただけたら嬉しいです。

すみれ



すみれ組の挑戦は、「めざせ！指先職人！」です。2歳児は、言葉や運動機能が急激に発達する時期です。指先を使うことは、脳に良い刺激となります。4月から、粘土遊びやシール貼り、お絵描き、新聞遊びなど指先を使った遊びをたくさん取り入れ楽しんでいます。これから折り紙やハサミを使ったりしながら「指先職人！！」をめざしていきたいと思います。

いちご



0歳児は、1年間の発達が最も著しい年齢です。子どもたちは日々成長し、毎日できることが増えていきます。そんな「できた！」を共に喜び、増やしていくことを今年の挑戦としています。室内遊びでは、マットの山やトンネルを出し、身体を動かせるように工夫しています。マットの山をなかなか登れなかった子も、保育教諭の声掛けで少しずつ登れるようになりました。トンネルくぐりも大好きで、ハイハイやずりばいで繰り返しくぐり楽しんでいます。個人差が大きい0歳児ですが、一人ひとりの発達に応じた援助を行い、子どもたちの「できた！」をたくさん増やしていきたいと思います。

まことの保育



もも組で大人気！
楽しいね



1歳児もも組では風船遊びを楽しんでいます。カラフルな風船をふわりと舞い上げると、エアコンの吸い込み口にピタッ！やがて、まるで風船のシャワーのようにふわふわと降り注ぎ、「わあー！！」と子どもたちの大歓声が響き渡ります。



編集後記

今年は例年よりも早く梅雨が明け、早くも本格的な暑さが到来しております。今後も子どもたちの体調管理に十分留意しながら、元気に夏を過ごしてまいりたいと存じます。なお、7月には保育参観や講演会がございます。園での取り組みや子どもたちの様子を感じていただく機会となれば幸いです。もも組

(文責：藤川み)